

平成16年3月期 第3四半期業績の概況(連結) 平成16年1月30日

上場会社名 日本精線株式会社

(コード番号: 5659 東証・大証 第1部)

(URL <http://www.n-seisen.co.jp/>)

代表者 代表取締役社長 浅香 文昭

問合せ先責任者 経営管理部長 岸木 雅彦

(TEL: (06) 6222 - 5432)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 平成16年3月期 第3四半期業績の概況(平成15年4月1日 ~ 平成15年12月31日)

(1) 売上高

	百万円	%
16年3月期第3四半期	14,522	-
15年3月期第3四半期	-	-
(参考)15年3月期	18,905	

(注) 1. 金額の表示は百万円未満を切捨てて表示しています。

2. 売上高は当該四半期までの累計値であります。

3. 当該四半期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期実績及び増減率については記載しておりません。

[売上高に関する補足説明]

当該四半期のわが国経済は、長期化するデフレの中で、米国経済の先行き懸念、引続くイラク情勢の混迷など、不透明感は払拭されないままでしたが、一方、輸出に支えられた民間設備投資の増加の動きや株式市場の好転など、明るい兆しも見られました。このような状況下で当社グループとしては、顧客重視を基本に、新製品及び高付加価値製品の拡販に努めるとともに、更なるコストダウンと品質向上に注力した結果、当該四半期の売上高は、145億22百万円となりました。

製品別の売上状況は、次のとおりであります。

《ステンレス鋼線》

主力のばね用材が新製品の拡販効果もあり、自動車・家電・OA機器関連向けなどで堅調に推移しました。また、PDP(プラズマ・ディスプレイ・パネル)製造プロセス向けなどで使用される極細線も伸長し、ステンレス鋼線部門の売上高は110億60百万円となりました。

《金属繊維(ナスロン)》

主力のフィルターがポリエステルフィルムなどで堅調に推移し、また、半導体・液晶業界向けの超精密ガスフィルター(ナスクリーン)もさらに一段と伸長したため、金属繊維部門の売上高は23億12百万円となりました。

《その他》

溶接棒・電極線が減少したものの、建材向けステンレス釘が回復したことなどにより、その他部門の売上高は11億49百万円となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事項はありません。

3. 平成16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日 ~ 平成16年3月31日)

業績は概ね当初予想(平成15年11月19日公表)どおり順調に推移しており、業績予想の変更はありません。

以 上